

二ツ井町出身の藤本さん

小中学校・保育園に絵画を寄贈



町長に絵画を手渡す藤本さん



子ども園に飾られた藤本さんの絵

11月10日、二ツ井町出身で由利本荘市在住の藤本広義さん（67歳）が役場を訪れ、町内の小中学校と子ども園へと、多数の絵画を寄贈いただきました。

藤本さんは幼い頃から絵を描くのが好きで、日劇などの看板製作の仕事を経て、看板店を開きましたが、交通事故で右半身にしびれが残り、以来15年間絵を描くことができませんでした。

しかし、今年5月、お孫さんに自分が絵を描く仕事をしていたことを伝えたく、再び絵筆を持ち、スナップ写真をもとにお孫さんを描いたことをきっかけに、創作活動を再開したとのことです。藤本さんは著名人や友人・知人の肖像画、デズニータンメのキャラクター、七福神など30点を描き上げ、シルバー人材フェアに出品したり、地域の小学校などにプレゼントをしています。

藤本さんは、「二ツ井町は生まれ故郷だし、ぜひ、自分の絵を贈りたかった。子どもたちがこの絵を見て、夢と希望を持ってくれたら嬉しいですよ」と述べられました。

第5回危険業務従事者叙勲

伊藤朝男さん（荷上場）に瑞宝単光章



11月3日付けで、第5回危険業務従事者叙勲が発令され、二ツ井町から伊藤朝男さん（荷上場）が消防功勞として瑞宝単光章を受章されました。

伊藤さんは、昭和34年に二ツ井町消防団常備部に入り、46年からは二ツ井町藤里町消防一部事務組合消防署に採用。63年から消防士長、平成4年から消防司令補・警防係長を努め、翌5年には消防本部消防司令となり、平成7年の定年退職まで、36年間の長きにわたり、地域の防災と安全のために尽力されました。

受章の言葉

このような栄誉を受けられるとは思わなかったので、驚いています。現役時代に町民のみなさんのご協力があったからこそ、全力で消防活動に励むことができた。この受章につながったと思っています。今後は、この叙勲に恥じることのない生活を続け、少しでもみなさんに恩返しができるよう、地域の活動などに参加していきたいと思っています。